



# 芳賀町総合情報館 ～町民の生涯学習と文化芸術活動の拠点になることを目指して～

## 栃木県 芳賀町総合情報館

### 基本データ

所在地	栃木県芳賀郡芳賀町 祖母井南 1-1-1
職員数	15人
うち司書数	8人
蔵書数	115,903冊
利用登録者数	11,562人
年間貸出冊数	163,385冊
(児童用図書貸出数 60,430冊)	

### テーマ・活動のねらい等

【テーマ】複合化、空間づくり

【活動のねらい】

- 町民をはじめとする地域の文化芸術の振興・発展
- 各館の一体的な利用による、利用者の利便性向上
- 多様なニーズへの対応
- 新たな利用者の開拓
- 効率的な施設の管理・運営

### 取組・活動の概要

- 芳賀町総合情報館は、図書館・博物館・文書館という3つの機能をもつ複合館として、平成20(2008)年に開館した。
- 各部門が独立しつつ相互に協力し合うことで相乗効果を発揮し、多様化・高度化するニーズにも対応できる施設となっている。
- 芳賀町民に限らず多くの利用者が気軽に訪れており、楽しみながら知的好奇心が刺激される施設として、文化の香り高いまちづくりに貢献している。
- 平成29(2017)年には総来館者数が10万人を超え、町の情報発信基地としての認知度も上がってきた。

#### (1) 各部門間の連携による人の流れの創出

- 博物館・文書館の展示室における展示や、講演等のイベントと連携して、本の特集コーナーを図書館内に設置し、展示室と図書館の間で人の流れを創出している。展示やイベントで本の特集コーナーをPRすることにより、来場者を読書活動に誘導する仕組みを作っている。

#### 【各部門間の連携の具体例】

- ①平成30(2018)年 芳賀の考古
  - 展示室で、芳賀町をはじめ芳賀郡内から出土した考古資料を展示し、図書館内に関連資料の特集コーナーを設置



文書館資料展示の様子

#### ②令和元(2019)年 岡山伸也原画展

- 展示室で、童話作家・内田麟太郎氏の絵本挿絵を手掛けた岡山伸也氏の作品を展示し、図書館内に内田麟太郎氏の作品コーナーを設置

#### (2) 複数のねらいをもった講座やワークショップの開催

- 各部門連携による複数のねらいを持った講座を開催することで、より多くの、また新たな利用者の開拓につなげている。

#### 【複数のねらいの具体例】

- 令和元(2019)年 和綴じ本づくり講座では、司書会議での発案に、学芸員が賛同・連携する形で企画化した。
- 本のつくりを学ぶことで本や古文書への興味を高めることを目的に、文書館所蔵資料を使った講話や、和綴じ本づくりのワークショップを、司書と学芸員が連携して実施した。



和綴じ本づくり講座の様子

### (3) 司書と学芸員によるレファレンスの協力

- 町史編さん時に収集した資料を中心に、地域資料も充実している。図書館の司書と文書館の学芸員が連携してレファレンスを行うことで、利用者の高度なニーズにも対応している。

### (4) 学校司書を総合情報館から配置

- 町内各小中学校（小学校3校・中学校1校）の学校司書は総合情報館に所属しており、情報館から各校へ配置することで学校図書館と連携を図っている。
- 学校配属の司書は、夏休みなど児童生徒の長期休暇中に総合情報館で司書業務を行い、学校・情報館の間での情報共有や業務の連携を行っている。

## 取組・活動の工夫や特徴

- 各部門縦割りではなく、計画段階から情報交換を密に行って連携し、より良い展示や関連事業の実施につなげている。

## 取組・活動の成果や今後の展望

### 【成果等】

- 各館が単館だった頃より、利用者数が格段に増加した。
- 博物館や文書館との連携により、新たな図書館利用者の開拓や、町外からの利用者増加につながった。
- 来館者向けに、町の観光情報などを発信する場としても定着してきた。

### 【今後の展望】

- 町の総合情報発信の拠点として、町の歴史に関する展示開催や行政情報の提供について、より一層注力していきたい。